

Introduction to Digital Computers and Programming Practice

2 units (compulsory)

Hiroshi Murai · PART-TIME LECTURER

Target) プログラミングを通して、論理的な思考能力の修得を目指す。

Outline) インターネットやコンピュータを初めとする情報技術 (IT) は既にインフラ技術として認知されており、これからの社会には IT の活用が必須となる。JavaScript による Web プログラミングを通して、インターネットの概要や役割、Web アプリケーションの実際を学ぶと共に、実務に役立つデータ処理手法をプログラミング演習形式により修得する。

Keyword) *programming, internet, web application*

Relational Lecture) “**Biological Statistics**”(0.5), “**Bioinformatics**”(0.5)

Requirement) パソコン操作の基礎を学んでいること。

Notice) 最新の技術に関する演習であるため、常日頃から新聞や雑誌などに目を通して IT 関連ニュースに注目すること。

Goal)

1. インターネットの役割を理解する。
2. Web アプリケーションのプログラミングを理解する。
3. 実務に役立つデータ処理手法を理解する。

Schedule)

1. インターネットの仕組みと役割
2. Web アプリケーションの実際
3. HTML によるホームページの作成
4. スタイルシートを用いたレイアウトの作成
5. 中間試験 1(到達目標 1, 2 の一部評価)
6. JavaScript プログラミングの基礎
7. 文字列の表示
8. 算術演算
9. Window の操作
10. 制御構造
11. 中間試験 2(到達目標 1, 2 の一部評価)
12. フォームによるデータ入出力
13. Java アプレット
14. レポート (到達目標 2, 3 の一部評価)
15. 期末試験 (到達目標全ての一部評価)
16. まとめ

Evaluation Criteria) 出席率 80%以上で、到達目標 3 項目が各々 60%以上達成さ

れている場合をもって合格とする。達成度は中間試験 (30%), レポート (30%), 期末試験 (40%) で評価する。

Jabee Criteria) 成績評価と同じ。

Relation to Goal) 本学科教育目標 (A) に対応する。

Textbook)

- ◇ 「情報演習 5 ステップ 30 JavaScript ワークブック」相澤 裕介 (2006-01 出版) ISBN 978-4-87783-818-8 C3004
- ◇ 補助教材としてオンライン教材を利用する

Reference) プロジェクト A 「標準 HTML, CSS, JavaScript 辞典」インプレス

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216217>

Student) Able to be taken by only specified class(es)

Contact)

⇒ 生物事務室(M棟703)

Note)

- ◇ 追試験・再試験は行わない。
- ◇ この授業は講義と演習が組み合わさったものであるため、授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 3 時間の予習・復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。